



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月11日

上場会社名 岩崎通信機株式会社

上場取引所 東

コード番号 6704 URL <http://www.iwatsu.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 近藤 恒男

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 (氏名) 龍崎 正司

TEL 03-5370-5111

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	12,608	△4.6	△228	—	△147	—	△149	—
23年3月期第2四半期	13,227	6.3	△535	—	△462	—	△712	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △241百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △944百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	△1.49	—
23年3月期第2四半期	△7.08	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	26,918	17,068	62.9
23年3月期	27,841	17,561	62.6

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 16,940百万円 23年3月期 17,435百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	2.50	2.50
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※期末の配当予想額は未定です。

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,000	△3.1	△300	—	△300	—	△300	—	△2.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 一社 (社名) 、 除外 1社 (社名) 岩通アメリカ株式会社
(注)詳細は、【添付資料】P.4「サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	100,803,447 株	23年3月期	100,803,447 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	299,599 株	23年3月期	296,035 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	100,506,041 株	23年3月期2Q	100,516,411 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については、【添付資料】P.2「当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

期末の配当予想額については、今後の業績や財政状態等をさらに見極める必要があり、現時点では未定です。今後配当の予想額の開示が可能となった時点で速やかに開示いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(5) セグメント情報等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年9月30日まで)におけるわが国経済は、東日本大震災及び原発事故に伴う電力不足、生産活動の低下、買い控えによる個人消費の悪化等がありました。その中で、サプライチェーンの急速な復旧等による企業業績の回復基調も見られますが、最高値を更新した円高の為替相場、欧州における金融不安の波等、依然として先行きの不透明な状況は続いております。

このような企業環境の中、当社グループでは、昨年9月に策定いたしました平成25年3月期を最終年度とする中期経営計画「Challenge & Innovation 2012」の基本方針に沿って、「挑戦」と「改革」による成長戦略に鋭意取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、主力の情報通信分野において、震災影響による前年度末の流通在庫減少の反動もあり一部商品は売上が増加いたしました。北米販売子会社を前年度末に事業譲渡したことや特定顧客向け計測システムの納入が終了したことの影響がありましたため、全体では126億8百万円で前年同期比4.6%の減収となりました。利益面につきましては、売上高は減少しましたが、原価率の改善と販管費の削減等により、営業損失2億2千8百万円(前年同期5億3千5百万円の損失)、経常損失1億4千7百万円(前年同期4億6千2百万円の損失)、四半期純損失1億4千9百万円(前年同期7億1千2百万円の損失)とそれぞれ改善いたしました。

セグメント別事業の概況は次のとおりであります。

[情報通信事業]

情報通信事業の売上高は74億3千2百万円で前年同期比6.5%の増収となり、セグメント損益(営業損益)は5億5千4百万円の利益(前年同期1億6千2百万円の損失)となりました。主力の中小事業所向けビジネスホンは、震災の影響により流通在庫が減少した前年度末からの反動等もあったため需要が活発化し、売上高は大幅な増収となり、また、利益面でも黒字に転換いたしました。

[ITNS(ITネットワークソリューション)事業]

ITNS事業の売上高は12億7千7百万円で前年同期比17.6%の増収となり、セグメント損益(営業損益)は4千7百万円の利益(前年同期4千2百万円の損失)となりました。コールセンタ構築支援及びネットワーク関連は、大型案件は減少しましたが確実な受注の確保等により、売上高は増収となり、利益面でも黒字に転換いたしました。

[計測事業]

計測事業の売上高は9億9千7百万円で前年同期比45.0%の減収となり、セグメント損益(営業損益)は8千9百万円の損失(前年同期4千2百万円の利益)となりました。カーブトレーサ等のパワーエレクトロニクス関連製品の売上は増加いたしました。前年度で納入を終了した特定顧客向け計測システムの大幅な売上減少と基本測定器の売上減もあり、売上高は大幅に減少し、利益面では利益から損失に悪化いたしました。

[製版事業]

製版事業の売上高は20億8千万円で前年同期比14.8%の減収となり、セグメント損益(営業損益)は1億5千2百万円の利益(前年同期3億7千1百万円の利益)となりました。国内市場は、当社の売上を中心とする消耗品関連において流通在庫の調整局面となっており、海外向けの減少を含め売上高が減少いたしました。

[その他]

その他は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コンポーネント事業等を含んでおります。その売上高は8億1千9百万円で前年同期比9.9%の減収であり、また、新規分野への開発投資が本格化したため、セグメント損益(営業損益)は2億3千1百万円の損失(前年同期1億3千8百万円の損失)となりました。

(2) 連結業績予想に関する定性的情報

わが国における景気は、震災影響から夏場の電力不足を乗り越え、着実に回復基調にはなっているものの、世界的な金融不安の進展、円の高止まりによる輸出関連企業への影響、個人消費の低下、さらにはタイの洪水による部品供給低下の懸念等もあり、引き続き厳しい経済環境が続くものと思われま

す。当社グループでは、当第2四半期連結累計期間は流通在庫積み増し需要を背景に、売上高は年間計画の前倒し基調で推移した部分もありましたが、第3四半期以降についてはその反動が想定されます。今後も、景気と市場環境の変動を常に注視し、新規需要の発掘と売上高の確保に努めてまいります。また、中期経営計画「Challenge & Innovation 2012」に沿って、成長分野への経営資源の重点配分及び製造コスト削減と諸経費圧縮等を推進してまいります。

このような状況を踏まえ、平成24年3月期の連結業績につきましては、平成23年8月5日に公表いたしました通期業績予想を売上高のみ修正し、売上高260億円、営業損失3億円、経常損失3億円、当期純損失3億円といたしました。また、タイの洪水による影響を最低限にとどめるべく努力してまいりますが、現時点では具体的数値としての予測が困難であり、業績予想には含まれておりません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

岩通アメリカ株は、解散の決議を行い営業活動を停止したことにより重要性が乏しくなったため、第1四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しています。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,790	8,344
受取手形及び売掛金	6,045	4,968
有価証券	998	2,998
商品及び製品	1,344	1,447
仕掛品	576	591
原材料及び貯蔵品	1,445	1,756
その他	722	247
貸倒引当金	△92	△73
流動資産合計	20,831	20,280
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,008	1,946
その他（純額）	1,859	1,739
有形固定資産合計	3,867	3,686
無形固定資産		
のれん	186	159
ソフトウェア	876	855
その他	61	58
無形固定資産合計	1,124	1,073
投資その他の資産		
投資有価証券	1,425	1,380
その他	769	694
貸倒引当金	△177	△196
投資その他の資産合計	2,017	1,878
固定資産合計	7,010	6,637
資産合計	27,841	26,918
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,841	2,053
短期借入金	160	72
未払法人税等	137	75
賞与引当金	662	689
役員賞与引当金	34	10
製品保証引当金	224	285
その他	1,768	1,330
流動負債合計	4,828	4,517
固定負債		
長期借入金	84	74

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
繰延税金負債	1,289	1,285
退職給付引当金	3,180	3,140
その他	897	832
固定負債合計	5,450	5,333
負債合計	10,279	9,850
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,025	6,025
資本剰余金	6,942	6,942
利益剰余金	5,199	4,521
自己株式	△48	△48
株主資本合計	18,118	17,440
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△34	△76
為替換算調整勘定	△648	△422
その他の包括利益累計額合計	△683	△499
少数株主持分	126	127
純資産合計	17,561	17,068
負債純資産合計	27,841	26,918

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	13,227	12,608
売上原価	8,150	7,515
売上総利益	5,077	5,092
販売費及び一般管理費	5,613	5,320
営業損失(△)	△535	△228
営業外収益		
受取利息	2	7
受取配当金	16	18
持分法による投資利益	30	25
その他	71	87
営業外収益合計	121	139
営業外費用		
支払利息	7	5
貸倒引当金繰入額	—	21
不動産賃貸費用	15	17
為替差損	11	—
その他	14	15
営業外費用合計	48	59
経常損失(△)	△462	△147
特別利益		
貸倒引当金戻入額	42	—
受取和解金	41	—
退職給付制度終了益	—	122
その他	0	—
特別利益合計	83	122
特別損失		
固定資産除却損	191	—
災害による損失	—	56
特別退職金	—	25
その他	108	—
特別損失合計	299	82
税金等調整前四半期純損失(△)	△678	△107
法人税、住民税及び事業税	49	42
法人税等調整額	△9	△1
法人税等合計	39	41
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△718	△148
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△5	1
四半期純損失(△)	△712	△149

四半期連結包括利益計算書

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△718	△148
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△124	△41
為替換算調整勘定	△102	△51
その他の包括利益合計	△226	△93
四半期包括利益	△944	△241
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△938	△243
少数株主に係る四半期包括利益	△5	1

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額(注3)
	情報通信	I T N S	計測	製版			
売上高							
外部顧客への売上高	6,972	1,085	1,814	2,444	909	—	13,227
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	6,972	1,085	1,814	2,444	909	—	13,227
セグメント利益又はセグメント 損失(△)	△162	△42	42	371	△138	△605	△535

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コンポーネント事業等を含んでいます。

2. セグメント損益の調整額△605百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△605百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

3. セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業損益と調整を行っています。

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額(注3)
	情報通信	I T N S	計測	製版			
売上高							
外部顧客への売上高	7,432	1,277	997	2,080	819	—	12,608
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	7,432	1,277	997	2,080	819	—	12,608
セグメント利益又はセグメント 損失(△)	554	47	△89	152	△231	△661	△228

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コンポーネント事業等を含んでいます。

2. セグメント損益の調整額△661百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△661百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

3. セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業損益と調整を行っています。